

オープンキャンパスに行こう

今年度の行事として「大学見学」が予定されています。希望先がそれぞれ異なるので、各自個別に自分の希望先に行くことになります。

オープンキャンパスに行き、大学や学部・学科の説明を聞き、自分の考えているとおりの進路先なのかを確認しましょう。また、習得できる資格や就職先などの情報も入手しましょう。行くことでキャンパスや学生達の雰囲気も感じられます。また、複数の学校を見学すると、それぞれの違いも見えます。大学見学に行き、「入りたい気持ち」をたくさんため込み、受験に邁進してください。

後日、事前指導を行います。大学によっては、**事前申込が必要**な場合があります。下に進路希望先として多かった大学のオープンキャンパスについて記しました。予約が必要な場合は、大学のホームページを各自チェックし、予約が開始されたら各自申込みをしてください。

■主な大学のオープンキャンパス情報(5月22日現在)

※各自、最新情報を入手すること

大学名	開催日	申込等注意
筑波大学	8月5日・6日・11日 学群・学類によって日程違い	WEBでの事前申込みが必要 申込方法・申込開始日時(6月中旬予定)の情報については、5月下旬頃に掲載
茨城大学	水戸(7月22日) 日立・阿見(7月29日)	事前予約必要なし ただし模擬授業を事前登録すると優先的に受講可能 模擬授業詳細は決定次第掲載
県立医療大学	7月22日・23日	事前申込不要
東北大学	7月25日・26日	当日の詳細な企画については各学部等参照 順次公開予定
千葉大学	開催日は各学部ごと	申込方法は5月中旬から下旬頃掲載 申込は6月以降 事前申込者以外は当日参加不可 申込は先着順で受付 希望者が多数となった場合は締切日以前に申込締切
埼玉大学	7月17日授業公開 8月7日～9日学部ごと	授業公開は予約不要 学部説明会は予約必要
東京大学	8月2日・3日	参加登録受付は6月中旬
東京外語大学	7月9日	詳細5月末発表 体験授業等は申込制
首都大学東京	学部ごと	内容は決定次第掲載
横浜国立大学	8月5日・6日	内容は6月中旬に掲載予定 参加希望者は事前登録必要
横浜国立大学	6月25日 夏の進学説明会	WEB事前登録必要 詳細は6月上旬
慶應義塾大学	8月6日(三田)全学部 三田以外も実施 他日	事前申込制
早稲田大学	8月5日・6日	同日キャンパスごと開催 予約・事前申込不要
明治大学	キャンパスごと別日程	駿河台キャンパスのみ事前登録実施 登録方法は後日発表

オープンキャンパスに参加して、憧れを推進力に変えよう

茨大 工学部など改組

茨城大学では、今年度人文学部が人文社会学部に変更されました。また、平成30年度入試では、教育学部に面接を導入するなど改革が続いています。次の記事は、5月13日の新聞に掲載されたものです。

茨城大学は12日、学科編成で、工学部と大学院理工学研究所を2018年度に改組すると発表した。文部科学省に4月26日に申請した。

改組により、インターネットと機械やロボットを結ぶIoT、人工知能(AI)の進化が続く現代社会に対応し、地域社会の基礎を支える技術を普及させるために、さらなる工学分野の教育強化を図る。

学部は、これまでの8学科体制を見直し、5学科体制にする。工学の基礎学力の強化に加え、情報工学にも力を入れる。大学院は定員を約16%増の348人とし、6年一貫教育で高度な専門技術者育成を目指す。申請が通れば、6月末頃に改組を正式に決定する。三村信男学長は「工学部のおもしろさや活躍の道を積極的にアピールする」、馬場充学部長は「将来性を見極め、時代にあった教育を目指す」と語った。

2017年(平成29年)5月13日『讀賣新聞』朝刊

茨城大学だけでなく、他の大学でも改革が行われています。常に、新しい情報を入手するように心掛けましょう。

マリアナ諸島と広島③

■アメリカが、苦しんでいる被爆者の存在を社会から抹殺する政策をとりつづけたのは、なによりも原爆の残虐性、非人道性を隠すためであった。原爆の残虐性は、一発の爆弾が、瞬時に多くの建造物を破壊し、多量の死傷者を生み出すからだけではない。生き残った被爆者にも、原爆症の死の脅威の中でいつまでも苦しみながら生きていかなければならないという、「行きながらの死」を強いているからである。原爆は、文字どおり、人類みな殺しの兵器なのである。アメリカが、ファーレル声明で否定しようとしたのも、この原爆の非人道性であった。

アメリカが、9月5日のローレンスらの記事のなかで、報道されるのをいちばん嫌ったのは、「被爆後1ヶ月を過ぎた今も、1日に100人の割合で死んでいる」という事実であった。この事実こそ、原爆が国際法で禁止されている、不必要に苦痛を与える兵器であるということをもっとも端的に証明するものだからである。

1866年のセント・ピーターズブルク宣言は、前文につぎのように規定している。

「すでに戦闘外におかれた者の苦痛を無益に増大し又はその死を不可避ならしめる兵器の使用は、この目的の範囲を越えること、それ故、そのような兵器の使用は人道の法則に反すること。」

原爆は、まさに右の宣言が禁止している、「すでに戦闘外におかれた者の苦痛を無益に増大し、又はその死を不可避ならしめる兵器」である。アメリカとしては、原爆が、戦争の終わったいまなお、広島・長崎で多数の人びとを苦しめ、殺し続けているという事実は、ぜひとも隠さなければならなかった。この事実が世界に広まり、アメリカが、国際法で禁止されている残虐な兵器を使用した責任を、アメリカ国内においても、また国際的にも厳しく問われることになるのを非常におそれたからである。

『原爆犯罪 一被爆者はなぜ放置されたかー』椎名麻紗枝：著 大月書店

※ファーレル声明 アメリカの軍人ファーレルが、1945年9月6日連合国の海外特派員に「広島・長崎では、死ぬべき者は死んでしまい、9月上旬現在において原爆放射能のために苦しんでいる者(原爆症患者)は皆無だ」とした声明。

文化祭があっても毎日学習 6月29日～7月4日第2回定期考査／7月8日進研記述模試

■グアムの歴史

マリアナ諸島の島々には、同じ文化と言語を持つ人々が次々に定住していったと考えられています。これらの人々がのちにチャモロ人と呼ばれるようになりました。

グアム島が初めてヨーロッパと接したのは1521年3月6日とされています。それは世界一周の航海の途にあったマゼランがグアム島を発見し、ウマタックに上陸したことがきっかけでした。マゼランがグアム島を発見した後、1565年スペインの征服者がグアム島に到達し、スペイン国王がグアム島およびその他のマリアナ諸島の領有権を正式に宣言しました。

1898年米西戦争が勃発しました。スペイン領であったグアム島もアメリカ海軍の砲撃を受け、同年アメリカによって占領されることになります。グアム島はアメリカ海軍の石炭補給および通信連絡の拠点として使用されていましたが、1941年、真珠湾攻撃後間もなく侵攻してきた日本軍の手に落ちることになります。

1941年、日本は真珠湾攻撃による太平洋戦争勃発を機にグアムを占領します。グアムは日本軍の占領下にある唯一の旧米国領となり、第二次世界大戦中も他に類を見ない立場に置かれました。日本軍はグアム島を「大宮島」と改名しました。

1944年、アメリカ軍がグアム島に上陸。数千人ものチャモロ人、米兵、日本兵の命を奪った3週間に及ぶ激戦の末、グアム島は平静を取り戻し、再びアメリカの統治下に入りました。1950年にアメリカの自治属領(準州)となり、今日までアメリカ軍の太平洋戦略上の基地として活用されています。

グアム政府観光局HPより抜粋

原爆の標的となった広島市は、明治期から旧日本陸軍が拠点を置いた軍都だった。

強兵政策を進める明治政府は廃藩置県後、広島城内に鎮西鎮台第一分営を置き、1873（明治6）年には全国六鎮台の一つに数えられる広島鎮台とした。88年には第五師団に改称。日清戦争の間は大本営が置かれ、宇品港は全国の兵士を大陸に送り出す拠点となった。

以後、大正、昭和にかけさまざまな軍事施設が増強され、日中戦争、太平洋戦争でも海外侵略の重要な一翼を担った。

太平洋戦争末期には、西日本一円を管轄する第二総軍司令部が二葉の里（東区）に置かれた。空襲に備えて市中心部の建物疎開が大々的に実施され、原爆投下の朝も、多数の学徒らが作業に動員されていた。爆心地に近い屋外での作業のため、膨大な犠牲者を生んだ。

なお、「ヒロシマ新聞」に「県産業奨励館」と記された建物は現在の原爆ドーム。1996年、ユネスコの世界遺産に登録された。